

NPO法人 芽室まちなか応援隊との意見交換会報告書

令和3年11月22日 曜日 午後6時から庁舎3階にて開催

テーマ「芽室町におけるまちなかの活性化について」

	意見交換内容	委員会としての対応
道の駅構想について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活性化を目的に JR 駅舎に併設したい ・ 駅舎とトイレの間にシャッターを付け、分離し 24 時間利用可能にしたい ・ 大型バスが入れるよう駅前西側駐車場を改修したい ・ 物販はせず、食事や買い物は商店街へ誘導する 	ご意見として伺い、今後の調査研究等に活用します。
魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラフトビールを製造するマイクロブルワリーを設立したい ・ 食べ歩き券など買い物券の発行をし、街歩きガイドとコースを作り案内する 	まちなか再生の推進に連動した商店街活性化について、有効活用出来るよう調査

懇談会から見えてきた課題

本通り周辺地区の中心市街地活性化を目指しての立ち上げは、中心市街地に存在する空き家・空き店舗・空き地の活用方法を検討し、効果的な土地活用を進めたいと考えている町の施策と一致する点が多くみられ、中心市街地の空洞化に対する危機感を共有出来たと考える。人口減少・少子高齢化が進む芽室町において、未来を考えた取り組みとして評価できる。

まちなか応援隊の実施事業である四季を通して行う芽室野菜ヌーボーや、雪室「インカのめざめ」ピザの販売・商品開発などは、芽室町民が地元の旬な野菜を手軽に食べることができる。また、ピザの研究開発は将来的にふるさと納税の返礼品の人気上位を目指す事も考えられる。4月に行う雪室じゃがいもBBQイベントは、中心市街地に賑わいを創出する事業と言えます。今後はより多くの町民が集うイベントに成長させていただきたい。

まちなか応援隊の設立目的のなかで、芽室の本通り周辺地区限定の活性化と捉えることができるが、「まちなか」全体の活性化に繋がる応援隊活動を目指していただきたい。

芽室まちなか道の駅構想については、芽室駅の施設利用状況、駐車場を含めたインフラ整備、道の駅としての確認申請の条件（行政・24時間トイレ・会議室・物産販売・その他）や運営方法・管理などクリアしていく課題が多く見られる。町民が集えば、観光客も訪れると考える。

まちなか応援隊の活動は、中心市街地活性化に向けて、大きな期待を感じられる計画内容が盛り込まれており、今後の取り組みが益々発展することを期待し報告とする。